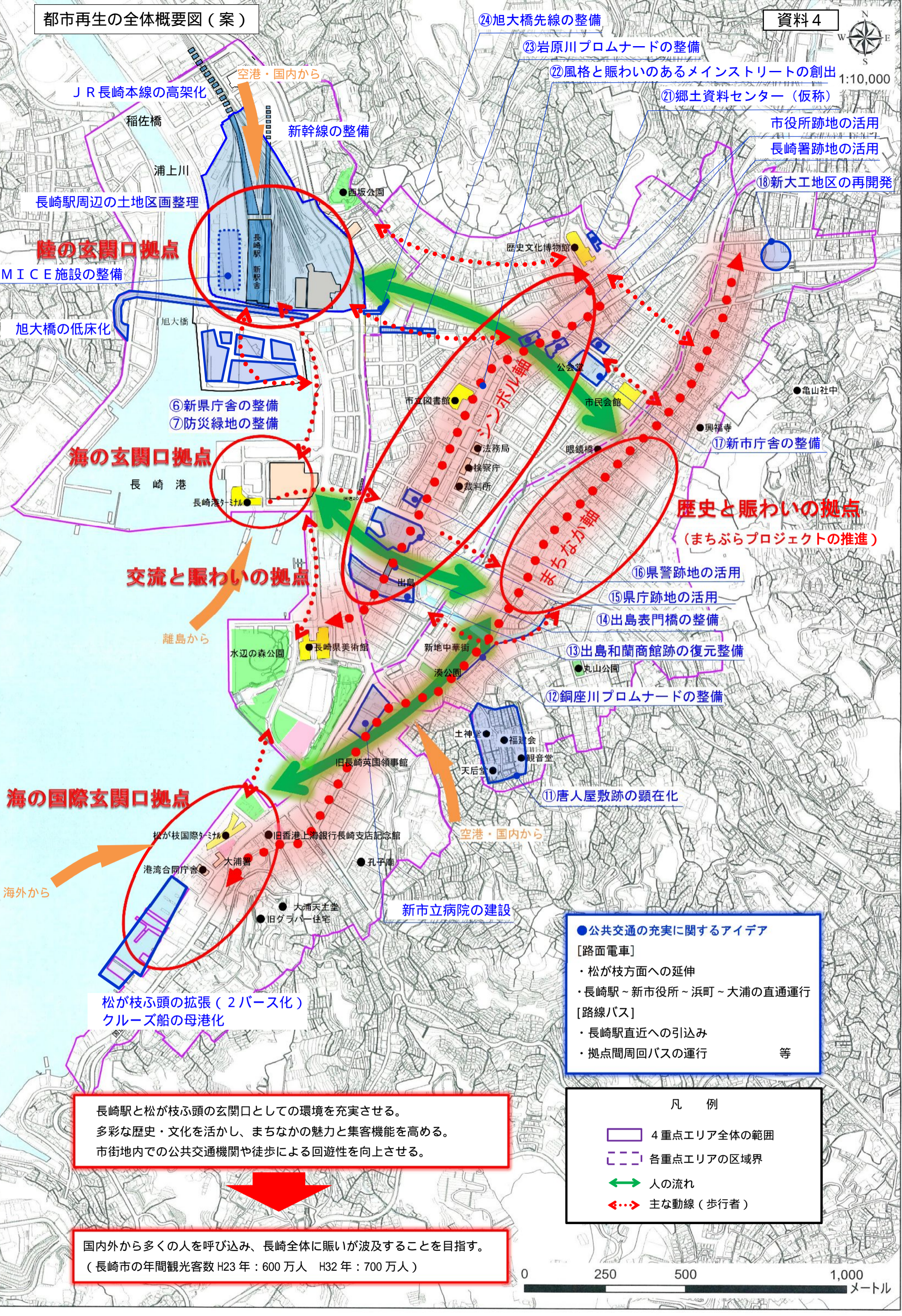


都市再生の全体概要図(案)

資料4



1:10,000



J R 長崎本線の高架化

稲佐橋

浦上川

長崎駅周辺の土地区画整理

陸の玄関口拠点

MICE施設の整備

旭大橋の低床化

⑥新県庁舎の整備

⑦防災緑地の整備

海の玄関口拠点

長崎港

長崎港ターミナル

交流と賑わいの拠点

離島から

水辺の森公園

長崎県美術館

新地中華街

湊公園

海の国際玄関口拠点

海外から

松が枝国際ビル

旧香港上海銀行長崎支店記念館

港湾合同庁舎

大浦署

大浦天主堂

旧グラバー住宅

新市立病院の建設

旧長崎英国領事館

孔子廟

土神堂

天后堂

福建会

観音堂

●公共交通の充実に関するアイデア

[路面電車]

- ・松が枝方面への延伸
- ・長崎駅～新市役所～浜町～大浦の直通運行

[路線バス]

- ・長崎駅直近への引込み
- ・拠点間周回バスの運行

等

凡例

4重点エリア全体の範囲

各重点エリアの区域界

人の流れ

主な動線(歩行者)

長崎駅と松が枝ふ頭の玄関口としての環境を充実させる。
多彩な歴史・文化を活かし、まちなかの魅力と集客機能を高める。
市街地内での公共交通機関や徒歩による回遊性を向上させる。

国内外から多くの人を呼び込み、長崎全体に賑いが波及することを旨とする。
(長崎市の年間観光客数 H23年: 600万人 H32年: 700万人)

0 250 500 1,000メートル